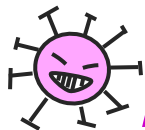


# 感染症に気をつけよう!!

2023年3月号

横浜市衛生研究所  
感染症情報センター 3月10日発行



## 横浜市内の感染症流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
インフルエンザ**	注意報	横ばい	3月8日時点の集計でも、患者報告数は注意報レベルを超えた状況が続いています。
梅毒**	発生	横ばい	患者の年齢層は10代～60代と幅広く、中心は20代～30代の若い世代です。【 <a href="#">無料・匿名検査</a> 】
感染性胃腸炎**	発生	やや減少	冬に多く、1月中旬にピークがありました。集団感染も報告されています。【 <a href="#">16.12号</a> 】【 <a href="#">ちらし</a> 】
新型コロナウイルス感染症*	流行	横ばい	<a href="#">今後の感染状況について</a> 、全国的には横ばい傾向が続くことが見込まれています。**【 <a href="#">23.2号</a> 】

\* 国立感染症研究所      \*\* 厚生労働省

今、復習しておきたい



新型コロナウイルス感染症



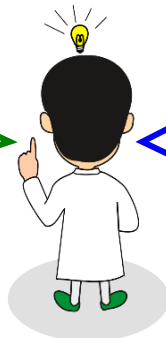
30代と比較した場合の  
各年代の重症化率\*

高齢者や  
病気のある人、妊婦さんは  
**重症化しやすい\***でしょ！



10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90歳以上
0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

高齢になると  
どのくらい重症化しやすいのかな？  
30代を基準にして比べてみよう！



新型コロナの  
感染力を軽く考えないで、  
[マスク\\*](#) や [ワクチン](#) のことも  
確認しておこう！

新しい **変異株\*** のことも  
心配だよ！

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例(無症状を含む)のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合。